

## 鷹揚郷腎研究所弘前病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	腎移植の予後と予後因子の探索(多施設共同研究)		
2. 対象患者	慢性腎不全にて生体・献腎移植をされた患者さんとそのドナーを対象とします研究全体で約1000人程度、鷹揚郷腎研究所弘前病院(連携施設の弘前大学附属病院を含む)では100-150例程度を予定しています。		
3. 対象となる期間	1997年1月1日 ~ 2025年 3月31日		
4. 実施診療科等	泌尿器科		
5. 研究責任者	氏名	畠山真吾	所属 泌尿器科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	この研究の実施施設は、山形大学医学部泌尿器科(土谷順彦)、秋田大学医学部泌尿器科(齋藤満)、岩手医科大学泌尿器科(小原 航)、岩手胆沢病院(米田真也)です。代表施設は岩手医科大学医学部泌尿器科(小原航)です。		
7. 研究の意義	免疫抑制剤の発展により進歩した現代の移植医療においても、様々な理由で移植腎機能を喪失する患者さんがいます。しかし、どのような患者さんが腎機能を喪失しやすいのかについて、未だにわかっていない事がたくさんあります。腎移植は単一施設で施行できる数が限られており、症例数が多くないため十分な研究が出来ていない事もその大きな要因です。本研究によって多施設から多くの患者情報を集約する事によって、腎機能の予後や管理法、治療法などの新たなモデルが確立できる可能性があります。		
8. 研究の目的	多施設の転移性腎癌患者の臨床情報を集積し解析することにより、腎移植患者さんとドナーの予後に影響する因子を同定する事を目的とします。そのため、これら患者さんの臨床データを集積、解析を行います。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	この研究では、1997年1月1日以降に末期腎不全と診断され、弘前大学医学部附属病院泌尿器科及び研究参加施設で腎移植を受けられた患者さんとそのドナーを対象に、臨床データを集積します。対象の患者さんの臨床情報は個人が特定されない形に匿名化された後、岩手医科大学泌尿器科で集積しデータベース化した後、各施設に電子的配信され、データ解析されます。得られた知見は、学会や論文として公表いたしますが、個人情報公表されることはありません。この研究を行う期間は、この研究が承認されてから2025年3月31日までの予定です。		
10. 個人情報の保護	この研究では、個人情報は厳重に保護・管理します。患者様の情報(住所・氏名・生年月日等)は削り、すべて記号を用いて扱います。記号化に関する記録は、弘前大学大学院医学研究科にて厳重に管理保管し、患者様のプライバシーが外部に漏れることはありません。この研究は、遺伝情報の解析は行いませんので、個人の遺伝情報などのプライバシーの問題が生じることはありません。この研究の成果は患者様のプライバシーを保ちながら、学会での発表や学術誌・データベースなどで公開されることがあります。 なお、この研究は、研究代表者の所属機関である岩手大学大学院医学研究科および本学の倫理委員会で審査を受け、この研究の遂行には科学的な価値が十分にあり、研究方法が医学的に適切で、患者様の人権が守られていることが確認されて承認されたものです。		
11. 利益相反に関する状況	この研究の研究費用は公的研究費(科学研究費)を用いて行われます。また、検査する糖鎖は順次公表され、利害の衝突もありません。		
12. 連絡先	鷹揚郷腎研究所弘前病院 泌尿器科 (月～金:9:00-17:00)		
	電話	0172-87-1221	FAX